

第1回杏林医学会研究奨励賞受賞によせて

島村 淳一

前 杏林大学医学部附属病院 初期研修医

東京大学医学部附属病院 心臓外科

はじめに、このような栄えある賞をいただき大変光栄に思います。初期研修医時代に本研究を含む温かいご指導をいただき、私を心臓外科の世界に導いて下さった窪田教授、須藤前教授はじめ心臓血管外科関係者の方々、ご指導いただいた各科、特に呼吸器外科、消化器外科の先生方に深く御礼申し上げます。

受賞対象論文 Three-Dimensional Replica of a Life-Sized Model of Aortic Arch Aneurysm for Preoperative Assessments. *Ann Thorac Surg* 2012;93:1699-1702 は胸部大動脈瘤の同一サイズレプリカを作成し、同レプリカを用いた術前評価に関する論文です。

胸部大動脈瘤は破裂すると死に至る危険な疾患ですが、破裂に至るまで殆ど無症状であるのが特徴です。近年治療法の進歩は著しく、手術手技、術前評価、術後管理の向上により手術安全性を一層高める努力が継続されています。中でも治療の難しい広範囲下行大動脈瘤に対して、当科では窪田らの開発したステントデリバリーシステム CLATE を用いたオープンステントグラフトによる手術を行っています。

本研究では、桐蔭横浜大学生体工学部と連携し、胸部大動脈瘤患者の CT データをもとに紫外線レーザーをレジソルに照射することにより同一サイズの大動脈レプリカを作成しました。レプリカを用いて術者が手術のシ

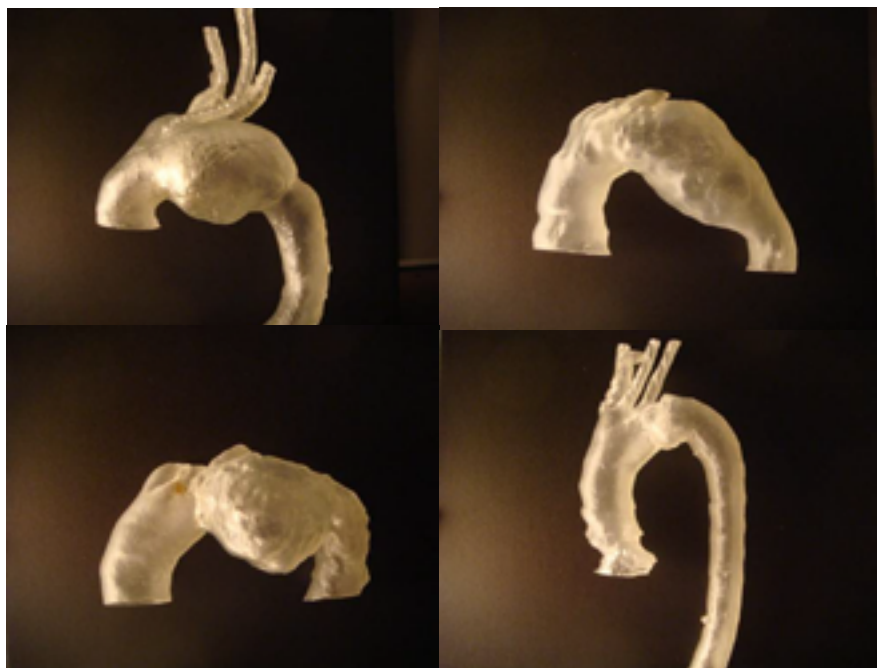


図1 完成後の大動脈瘤レプリカ。瘤のサイズ，位置，分布範囲に加え瘤と頸部分枝の位置関係や肋間動脈が明瞭に把握可能である。

ミュレーションを行いながら、術前にステントデリバリーの位置及び角度の詳細な検討を行うことが可能であり、ご家族への術前の Informed consent や学生教育にも非常に有用でした。解離、狭窄、血栓、石灰化などその他の大動脈病変についても応用が期待されます。

最後に、杏林大学病院在籍中の自著論文の紹介をさせていただきます。

1. Neorevascularization of a Left Atrial Myxoma. Shimamura J, Kubota H, Endo H, Tsuchiya H, Tonari K, Inaba Y, Sudo K. J Card Surg. 2011 Jan;26(1):69
2. Excision of right coronary artery aneurysm. Shimamura J, Kubota H, Endo H, Sudo K. J Card Surg. 2011 Jan;26(1):48-51
3. Left-sided Approach for Cardiac Procedure and Thoracoplasty in a Patient with Marfan Syndrome. J. Shimamura, H. Kubota, K. Sudo. Thorac Cardiovasc Surg 2011; 59: 1-3
4. 左冠状動脈主幹部閉塞をきたした Stanford A 型急性大動脈解離. 島村淳一, 窪田博, 戸成邦彦, 遠藤英仁, 土屋博司, 高橋雄, 稲葉雄亮, 高昌秀安¹, 南島俊徳¹, 伊波巧¹, 吉野秀朗¹, 須藤憲一 (心臓血管外科, 循環器内科¹) 胸部外科 2010; 63(7): 537-541
5. 傍腫瘍小脳変性症を伴う小細胞肺癌の 1 手術例. 島村淳一¹, 武井秀史¹, 田中良太¹, 横山琢磨², 千葉厚郎³, 呉屋朝幸¹ (¹呼吸器外科, ²同呼吸器内科, ³神経内科) 肺癌 50: 37-40, 2010
6. 胃癌孤立性肺転移の 1 切除例. 島村淳一¹, 田中良太¹, 武井秀史¹, 柳田修², 杉山政則², 呉屋朝幸¹ (呼吸器外科¹, 消化器・一般外科²) 日呼外会誌 2011; 25: 502-4